

令和6年12月26日14時00分  
近 畿 地 方 整 備 局  
大 阪 国 道 事 務 所

きたじま  
**国道26号北島交差点での渋滞解消に向けて**

きたじま  
～令和6年12月27日(金) 国道26号北島局所渋滞対策が完了します～

国土交通省は、「2050年、世界一、賢く・安全で・持続可能な基盤ネットワークシステム(WISENET※)」の実現のための政策展開により、新時代の課題解決と価値創造に貢献することを目指しています。

令和6年度より、シームレスネットワークの実現に向けたパフォーマンス・マネジメントの展開を目的とし、サービスレベルの低下要因となっている箇所に対して機動的・面的な対策を推進するため、局所渋滞対策事業を創設したところです。

国道26号北島局所渋滞対策は、ビッグデータの分析により渋滞原因を特定し、北島交差点～大和川大橋南詰交差点間の渋滞原因箇所において、左直混用車線の拡幅などを実施し、渋滞緩和を図る局所渋滞対策事業です。

令和6年11月20日(水)から順次、各箇所の対策が完了していますが、明日、12月27日(金)に国道26号北島局所渋滞対策の全箇所で対策が完了します。

今後も、照明柱移設などの残工事により、ご迷惑をおかけいたしますが、引き続き、ご理解・ご協力をお願いいたします。

※(参考)WISENET2050 パフォーマンス・マネジメントの実現

[https://www.mlit.go.jp/road/wisenet\\_policies/](https://www.mlit.go.jp/road/wisenet_policies/)

【対策内容・整備効果】

① 北島交差点(上り) <R6.12.11 対策完了>

対策内容:左直混用車線の拡幅

整備効果:左折待ち車両による直進車両阻害の抑制

② 阪神高速 堺線住之江ランプ出口から国道26号(下り)への合流車線 <R6.12.27 対策完了予定>

対策内容:合流車線の拡幅・延伸

整備効果:国道26号への合流阻害の抑制

③ 大和川大橋北詰交差点(上り) <R6.11.20 対策完了>

対策内容:右直混用車線の拡幅

整備効果:右折待ち車両による直進車両阻害の抑制

④ 大和川大橋南詰交差点(下り) <R6.11.20 対策完了>

対策内容:左直混用車線の拡幅

整備効果:左折待ち車両による直進車両阻害の抑制

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、  
大阪市政記者クラブ、堺市政記者クラブ、在堺記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所

副 所 長 長谷川 方夫(内線205)

地域調整課長 水野 洋幸(内線461)

TEL : 06-6932-1421(代表) FAX : 06-6932-1430

# 国道26号 北島局所渋滞対策の概要

国道26号の北島<sup>きたじま</sup>交差点～大和川大橋南詰<sup>やまとがわ おおはしみなみづめ</sup>交差点間は、阪神高速6号大和川線や阪神高速15号堺線の出入口が隣接し、渋滞が発生していました。

ビッグデータの分析により、交差点での右左折待ち車両による直進車両の通行障害や阪神高速ランプからの合流車両との輻輳が原因で旅行速度が低下していることが分かりました。

北島局所渋滞対策は、北島<sup>きたじま</sup>交差点などの渋滞原因箇所において、左直混用車線の拡幅などを実施し、渋滞緩和を図る局所渋滞対策事業です。

令和6年11月20日（水）から順次、各箇所の対策が完了していますが、明日、12月27日（金）に北島局所渋滞対策の全箇所での対策が完了します。

## ○事業概要

|      |                                             |
|------|---------------------------------------------|
| 区 間  | (起) 大阪府大阪市住之江区<br>西住之江3丁目<br>(終) 大阪府堺市堺区鉄砲町 |
| 事業延長 | 約0.5 km                                     |
| 事業化  | 令和6年度                                       |

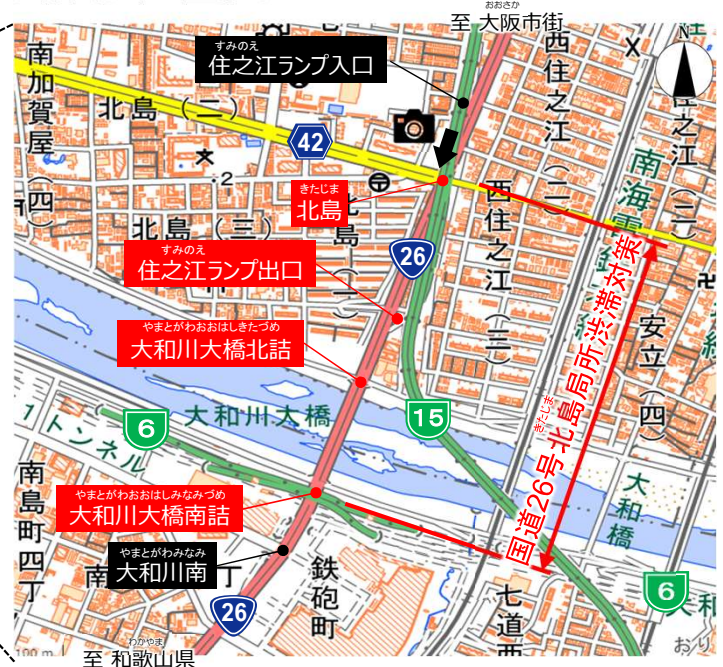
## ○位置図



## ○現況写真 (令和6年9月11日撮影)



## ○詳細位置図

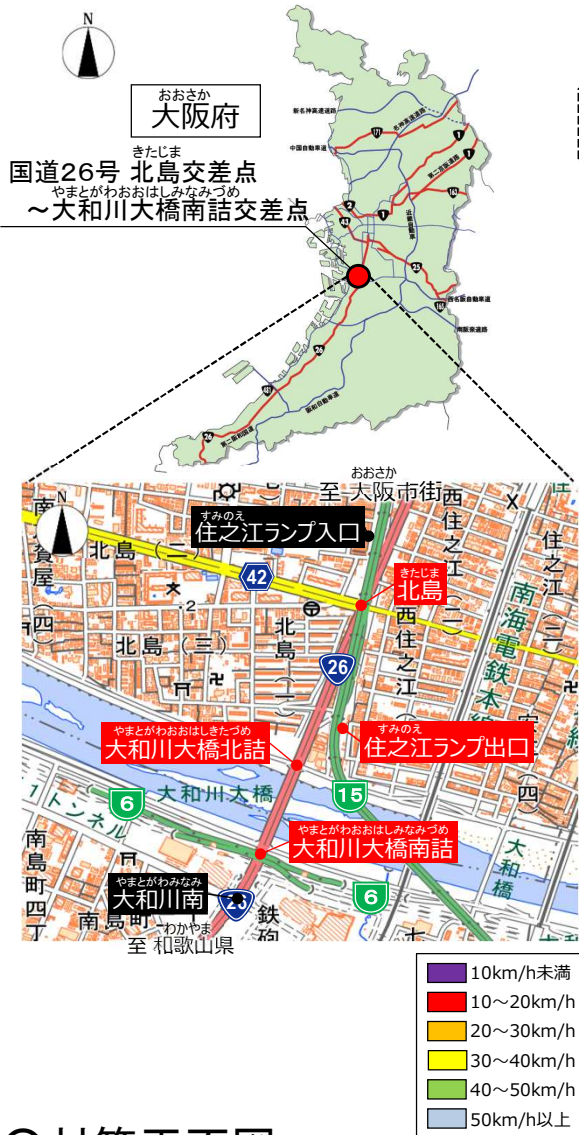


# ビッグデータ分析による速度低下要因の特定

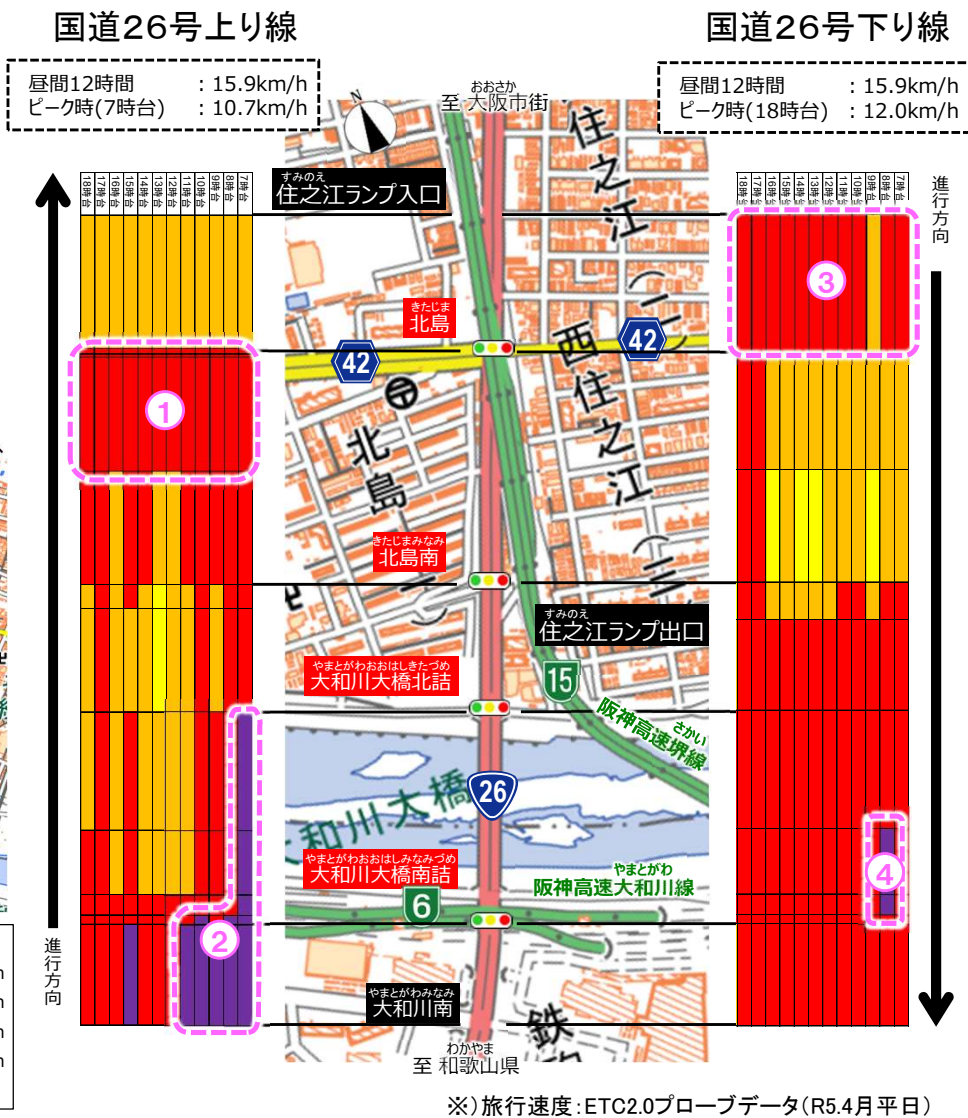
国道26号の北島交差点～大和川大橋南詰交差点間は、阪神高速6号大和川線や阪神高速15号堺線の出入口が隣接し、渋滞が発生していました。

ビッグデータ（ETC2.0プローブデータ）の分析により、交差点での右左折待ち車両による直進車両の通行障害や阪神高速ランプからの合流車両との輻輳が原因で旅行速度が低下していることを特定し、原因箇所において渋滞対策を計画しました。

## ○位置図

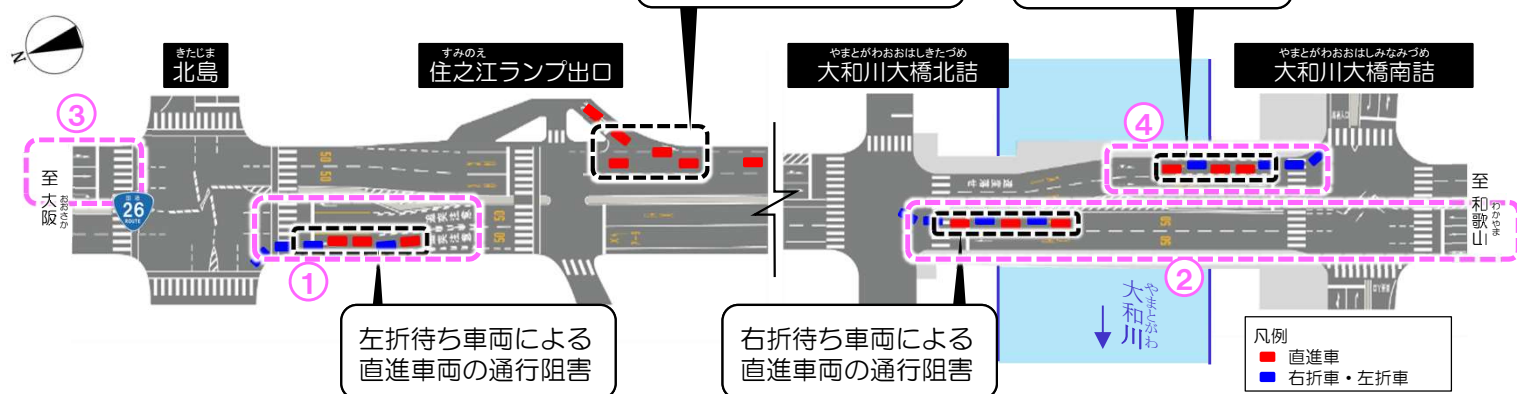


## ○国道26号 北島交差点周辺の時間帯別平均旅行速度



## ○対策平面図

### 対策前（渋滞発生要因）



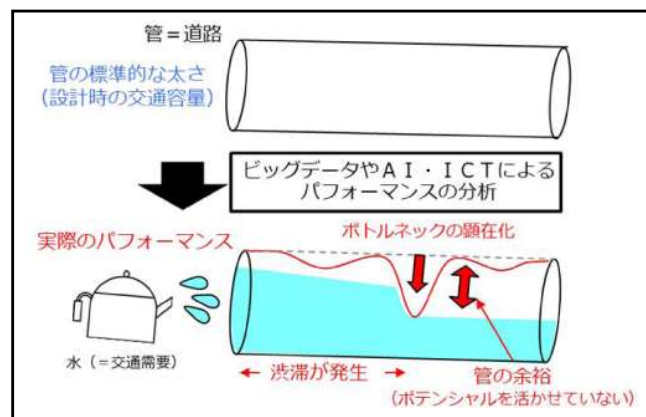


# <参考>局所渋滞対策事業の創設

シームレスネットワークの実現に向けたパフォーマンス・マネジメントの展開を目的とし、サービスレベルの低下要因となっている箇所に対して機動的・面的な対策を推進するため、令和6年度から局所渋滞対策事業を創設。

## 【目 的】

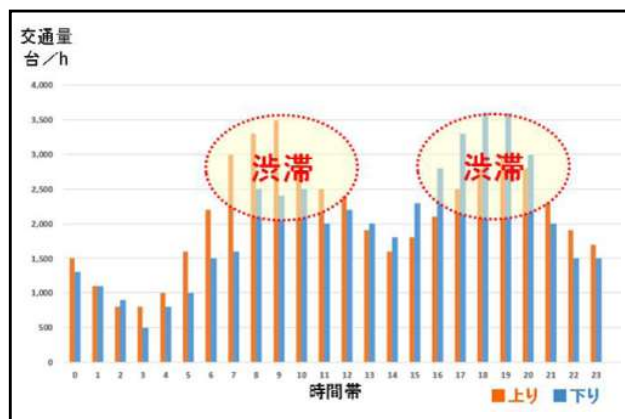
ビッグデータ等の活用により、求められるサービスレベルに対して著しい課題が生じている箇所の分析を行い、その結果に基づき、道路の機能向上を含む渋滞の緩和・解消を目的とした合理的な局所改良を実施することで、ネットワークのパフォーマンス改善を図る。



▲道路のパフォーマンスの概念図

## 【分析・評価】

ETC2.0等のビッグデータやICTを活用し、求められるサービスレベルに対する実際のパフォーマンスの分析・評価や渋滞要因の推定を実施。



▲時間別・箇所別・方向別のデータ分析

## 【対 策】

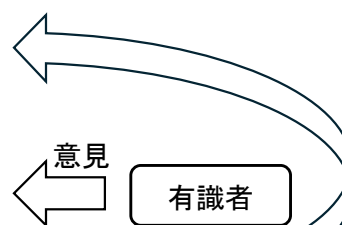
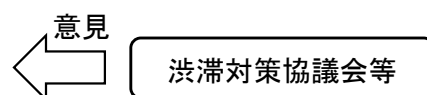
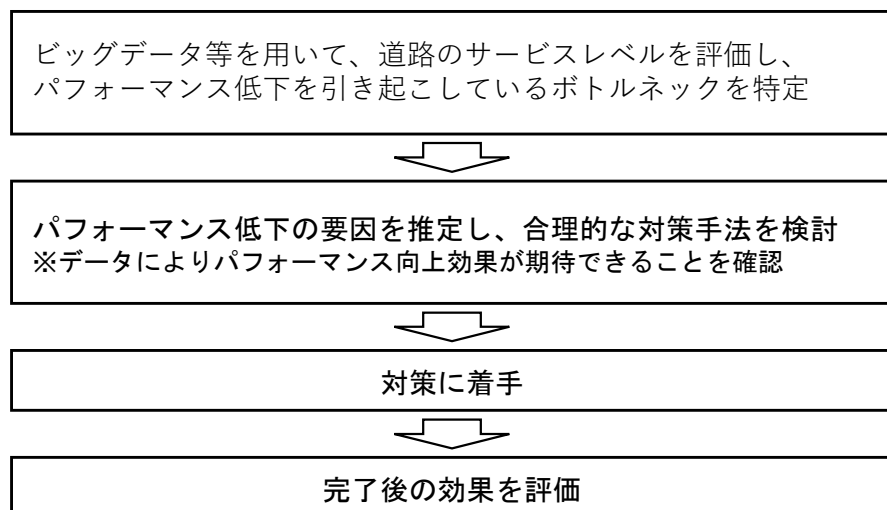
車線運用の変更など従来の手法に加え、2+1車線化など、要因に即した効率的・効果的な新たな対策※を柔軟に実施。



▲新たな対策の事例

※この他、ゼブラ帯設置、追加ランプ、直行方向の交差点立体化など既存の対策手法にとらわれず検討

## 【事業の流れ】



マネジメントサイクルで改善  
※必要に応じて追加対策を検討